

恵我小学校 4年2組 人間関係学科(あいあいタイム)指導案

「すてき星人になろう」

【パッケージ名】

『すてき 発見!』

自分に自信が持てないでいる子や、「～された」というような否定的な捉え方をする子が見られる。そのため、内面に目を向け、自分のよさや自分らしさを見つけ出せるような取り組みを設定した。その中で、子どもたち自身が自分に自信を持てるよう、物事の見方を変え、肯定的に受け止める「リフレーミング」という内容を取り入れた。お互いのよさを認め合える仲間関係を作っていくようにしたい。

【パッケージの流れ】

- | | |
|---------|-----------|
| 第1時 | 変身ライダー |
| 第2時 | マインドマップ |
| 第3時 | すてきなサツマイモ |
| 第4時(本時) | すてき星人になろう |

【本時のターゲットスキル】

自己信頼・対人関係

| | 時間 | 活動の流れ(指導者の教示・子どもの反応と行動) | 留意点 |
|-----------|-----|--|------------------------------------|
| ウォーミングアップ | 3分 | 『3まいのクッキー』 「この3まいのクッキーを見て、少ないと思いますが?多いと思いますか?」 「同じクッキーを見ても人によって見方は違うものですね。今日は見方の勉強をします。」 掲示 見方が違うと気持ちや見え方も変わる。 | 自由に意見が言えるように、楽しい雰囲気になるようにする。 |
| インストラクション | 2分 | 『いじわる星とすてき星』 「実は、宇宙のはるかかなたには、『いじわる星』と、『すてき星』があります。『いじわる星』には、どんなことでもいじわるな見方をするからいじわる星人がいます。でも『すてき星』にいるすてき星人は、いじわる星人とは違って、どんなことでもすてきな見方します。みなさんには、今日、すてき星人になってもらいます。」 | 『いじわる星』と『すてき星』の紹介をして、今日のめあてをつかませる。 |
| | 25分 | 『漢字ノート』 教師によるロールプレイ(いじわる星人) 子どもが漢字ノートをしている。 | 子どもといじわる星人が登場する。 |

| | | |
|--------|---|---|
| エクササイズ | <p>いじわる星人が(曲をバックに)あらわれて・・・ 「ん、お前まだ半分しかできていないのか。遅いなー！！」 話し合う。 「いじわる星人はどのように言っていましたか？」 (板書 まだ半分しかできていない 遅いなど) 教師によるロールプレイ(すてき星人) すてき星人が(曲をバックに)あらわれて・・・ 「もう半分もできるんじゃない。こんな丁寧な字で書けたのね。頑張ったね。」 話し合う。 「すてき星人はどのように言っていましたか？」 (板書 もう半分もできた がんばったなど) すてき星人といじわる星人の違いについて考えさせる。 「同じノートでも、違った見方ができるんですね。」 『班遊び』 「班遊びに遅れてきた子がいます。」 (板書)(時計提示) 教師によるロールプレイ(いじわる星人) いじわる星人がいるところに、(曲をバックに) 遅れた子が走ってくる。班遊びで一人だけ遅れてきた子に対して・・・ 「遅いねん。早く来いやー。5分むだになったわー。遊ばれへんかったやろ。」 話し合う。 「いじわる星人はどのように言いましたか？」 (板書 5分 遅れた 遊べないなど) 教師によるロールプレイ(すてき星人) すてき星人がいるところに遅れた子が走ってくる。 「・・・・」 すてき星人になって、すてきな言葉をふきだしに書く。 「みなさんは、すてき星人になってすてきな言葉を考えてね。」 できた子どもから前に貼りにくる。</p> | <p>カチンコの合図で止まり、退場する。</p> <p>子どもとすてき星人が登場する。</p> <p>カチンコの合図で止まり、退場する。</p> <p>見方が違うと言葉や気持ちも変わることをおさえる。</p> <p>視覚的にも状況がわかるようにしておく。</p> <p>いじわる星人と子どもが登場する。</p> <p>すてき星人が吹き出しを提示し、そこに当てはまる言葉を考えることに気づかせる。</p> <p>なかなか思いつかない児童に支援する。</p> |
|--------|---|---|

| | | |
|---------------|--|---|
| | <p>全員が貼れたら、すてきな見方ができている点を挙げていく。</p> <p>子どもによるリハーサル 「すてき星人になって、班遊びに遅れてきた友だちにすてきな言葉をかけましょう！」</p> <p>班ごとに、遅れてきた友達にすてきな言葉をかける。</p> <p>感じたことを発表する。</p> <p>「すてき星人になってどう思いましたか？」</p> <p>「すてきな言葉かけをして、どう感じましたか？」</p> | <p>すてき星人に変身できる【すてきステッキ】を持って行う。</p> <p>自分の考えた言葉でも、友だちの考えた言葉でもよい。</p> <p>ふざけない。</p> |
| シェアリング 10分 | <p>気づきを話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの見方を知って、思ったことを発表する。 ・ すてきな言葉かけのリハーサルをして感じたことを大切にし、今までの自分を振り返る。 ・ 振り返りシートに今日のワークをして自分や友達のことで気づいたことを記入し、交流する。 | <p>自分や友だちのがんばりを発表し合うことで温かい雰囲気になるように心掛ける。</p> <p>今までの自分を振り返られるよう働きかける。</p> |

参考文献

- 『リフレーミングを用いた性に関する指導』
- 『エンカウンターで学級が変わる Part 3 小学校編』 図書文化刊
- 『「気になる私」見方を変える』
- 『ワークシートによる教室復帰エクササイズ』 図書文化刊